

- 問1 古墳時代において、特定の地域に限定されず、全国各地で大規模な前方後円墳が築造されたという事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 仏教の影響が全国に及び、共通の儀礼に基づいた埋葬方法が庶民にまで普及したこと。 | 2. 大和政権を中心とした政治的な連合や服属関係が、各地の豪族との間に結ばれていたこと。 | 3. 狩猟・採集中心の社会から、稲作を中心とする平等な共同体へと社会が変化したこと。 | 4. 各地の豪族が、大陸から伝わった最新の墓制を競い合うようにして独自に導入したこと。 |
|--|--|--|---|
- 問2 5世紀ごろに造られた大仙古墳のような巨大な前方後円墳について、このような大規模な墳墓が築かれた歴史的な背景として最も適切な説明はどれか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 仏教の伝来とともに、死者を弔うために巨大な寺院を建てる習慣が広まったため。 | 2. ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。 | 3. 各地域の小国が、他国からの侵略を防ぐための軍事的な要塞として築いたため。 | 4. 大陸から伝わった稲作の技術を普及させるために、神を祀る祭祀場を各地に作ったため。 |
|--|---|---|---|
- 問3 古墳時代、朝鮮半島から日本列島に移り住んだ人々によって、新たな土器の製作技術が伝えられました。専用の窯（かま）を用いて高温で焼成されることで、それまでの土器に比べて非常に硬く、色が灰色をしていることが特徴の土器を何と呼びますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| 1. 縄文土器 | 2. 土師器 | 3. 須恵器 | 4. 弥生土器 |
|---------|--------|--------|---------|
- 問4 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住し、漢字や儒教、仏教などの大陸文化や、優れた製作技術を伝えた人々を何と呼びますか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. 遣隋使 | 2. 御家人 | 3. 防人 | 4. 渡来人 |
|--------|--------|-------|--------|
- 問5 徳島県と香川県を結ぶ道路の建設予定地周辺など、四国地方においても複数の「前方後円墳」を含む古墳群が確認されています。このように、近畿地方を拠点とする勢力が採用した墓の形式が全国各地へ広まった事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。 (2023年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|--|
| 1. 多賀城を中心とした東北地方の勢力が、全国を統一する力を持っていたこと | 2. 近畿地方を拠点とする大和政権の政治的な影響力が、地方へと及んでいたこと | 3. 遣唐使によってもたらされた国風文化が、地方の豪族の間で流行していたこと | 4. 仏教の伝来により、古墳に代わって大規模な寺院が地方に建立され始めたこと |
|---------------------------------------|--|--|--|
- 問6 古墳時代に、大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築造された歴史的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。 | 2. 大陸から伝来した仏教の教えに基づき、故人を盛大に供養することで国家の安寧を祈願するため。 | 3. 大規模な稲作の普及により余った土地を、洪水から守るための避難場所として整備するため。 | 4. 海外からの侵略を監視し、防衛するための軍事的な物見櫓や要塞として機能させるため。 |
|---|---|---|---|
- 問7 4世紀から7世紀頃、大陸から日本列島へ移住した人々が、大和政権の成長や社会の発展に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 遣隋使や遣唐使として大陸に派遣され、最新の政治制度を学んで帰国した後に律令国家の建設を主導した。 | 2. 九州沿岸の警備にあたる防人として任命され、大陸からの侵攻を防ぐ軍事的な役割を専門に担った。 | 3. 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。 | 4. 稲作の技術を初めて日本に伝え、狩猟や採集を中心とした社会から定住社会への転換を促した。 |
|---|--|--|--|
- 問8 5世紀の日本において、埼玉県稲荷山古墳や熊本県江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に銘文として刻まれていた大王の名として正しいものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|----------|------------|
| 1. 卑弥呼 | 2. 聖徳太子 | 3. 中大兄皇子 | 4. ワカタケル大王 |
|--------|---------|----------|------------|
- 問9 大阪府堺市に位置する大山古墳（仁徳天皇陵）について、その特徴を地形図から読み取った場合の説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 円形の墳丘が等高線によって示され、周囲には濠がなく、標高の高い山地の中に独立して築造されている。 | 2. 円形の後円部と方形の前方部を組み合わせた鍵穴のような形状の墳丘が、三重の濠に囲まれて配置されている。 | 3. 正方形の墳丘が三重の石垣によって囲まれ、その中心部に巨大な石室が露出している。 | 4. 長方形の墳丘が二重の濠に囲まれ、周囲に倍塚と呼ばれる小規模な円墳が直線状に並んでいる。 |
|---|---|--|--|
- 問10 古墳時代の前期において、同じ鋳型（いがた）で作られた「三角縁神獣鏡」などの銅鏡が、遠く離れた各地の有力者の古墳から共通して発見されています。このような現象は、当時の日本（倭）におけるどのような政治状況を物語っていますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大陸の王朝が日本全土を直接統治しており、各地の役所に同じ規格の鏡を配布した状況 | 2. 日本各地の村々が独自に大陸と貿易を行い、流行していた同じデザインの鏡を輸入した状況 | 3. 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況 | 4. 仏教が伝来したことで、全国の有力者が同じ教義を信じ、同じ意匠の鏡を自ら作成した状況 |
|--|--|--|--|
- 問11 近畿地方を中心に現れた、一方が四角形で他方が円形をした鍵穴のような形の古墳が、時代とともに全国各地（東北南部から九州）へと広がっていった事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 仏教の教えが各地に広まり、新しい埋葬の形式が全国で統一されたこと | 2. 大和政権（ヤマト王権）の勢力や政治的な影響力が、地方にまで拡大したこと | 3. 稲作の技術が全国に普及し、各地の農民が協力して巨大な墓を造ったこと | 4. 大陸から渡来した人々が、日本各地に共通の墓制を直接伝えたこと |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|-----------------------------------|
- 問12 4世紀から7世紀頃、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝えた人々を何と呼ぶか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 渡来人 | 2. 御家人 | 3. 遣隋使 | 4. 防人 |
|--------|--------|--------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 大和政権を中心とした政治的な連合や服属関係が、各地の豪族との間に結ばれていたこと。	前方後円墳という日本独自の特定の形式が列島の広い範囲に普及したことは、それらの地域が「大和政権」を中心とする政治秩序の中に組み込まれていたことを意味します。共通の墓の形を採用することは、大和の王との結びつきを周囲に示す重要な手段でもありました。
問2	答え 2 ヤマト政権の大王が、膨大な労働力を動員できるほどの強大な権力を持っていたことを示すため。	大仙古墳のような巨大な前方後円墳の建設には、延べ数百万人とも言われる膨大な労働力と長い年月が必要でした。これほど大規模な墓を築くことができた事実は、被葬者である大王が近畿地方を中心として、広範囲にわたる民衆や地方の豪族を統制し、支配下に置いていたことを証明しています。
問3	答え 3 須恵器	古墳時代、朝鮮半島から移住した渡来人によって、穴窯（あながま）を用いた最新の作陶技術がもたらされました。従来の土師器（はじき）が野焼きで焼かれる赤褐色の土器であったのに対し、須恵器は1000度以上の高温で焼成されるため、実用性が高い硬質な土器として普及しました。
問4	答え 4 渡来人	朝鮮半島での動乱などを背景に、優れた技術や知識を持つ人々が日本列島へ渡ってきました。彼らは大和政権に仕え、文字（漢字）の記録や外交、土木技術、金属工芸などの分野で重要な役割を果たし、日本の古代国家形成に大きな影響を与えました。
問5	答え 2 近畿地方を拠点とする大和政権の政治的な影響力が、地方へと及んでいたこと	古墳時代、近畿地方に拠点を置いた大和政権（ヤマト王権）は、各地の豪族と政治的な同盟を結んだり、支配下に置いたりすることで勢力を拡大しました。前方後円墳という特定の形式の古墳が各地に築かれたことは、その地域の豪族が大和政権の支配体制や序列に組み込まれたことを象徴しています。多賀城は奈良時代の東北経営の拠点であり、国風文化は平安時代の中期に発達した文化であるため、古墳時代の出来事とは異なります。
問6	答え 1 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。	古墳時代において、巨大な前方後円墳を築くには膨大な年月と膨大な人数の労働力が必要でした。このような大規模な土木工事を行うことができた事実は、その被葬者が広範囲に及ぶ支配権と財力を持っていたことを象徴しています。また、前方後円墳という特定の形式が日本各地に広がったことは、大和政権（ヤマト王権）を中心とした政治的な連合や身分秩序が各地の豪族との間に形成されていたことを示しています。
問7	答え 3 須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝え、政権の組織づくりや文化の発展に大きく貢献した。	移住した人々は、須恵器の製作、金属器の加工、養蚕、織物といった実用的な技術だけでなく、漢字や仏教、儒教といった学問や宗教も伝えました。これらの知識や技術は、大和政権が国内を統治するための公文書作成や、国家としての権威を高めるための寺院建築などに活用され、古代日本の国家形成において不可欠な役割を果たしました。なお、稲作の伝来は弥生時代、防人の制度は7世紀後半の白村江の戦い以降に本格化したものです。
問8	答え 4 ワカタケル大王	埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳からは、「ワカタケル大王（獲加多支鹵大王）」の名が刻まれた鉄剣や鉄刀が出土しました。これにより、5世紀後半にはヤマト王権の支配が関東から九州におよんでいたことがわかります。
問9	答え 2 円形の後円部と方形の前方部を組み合わせた鍵穴のような形状の墳丘が、三重の濠に囲まれて配置されている。	古墳時代中期を代表する大山古墳（仁徳天皇陵）は、前方後円墳という日本独自の形式を持つ巨大な古墳です。地形図上では等高線によってその独特な「鍵穴型」が描かれ、さらに墳丘を保護するように三重の濠が巡らされていることが確認できます。また、周囲には「倍塚（ばいづか）」と呼ばれる、被葬者の親族や家臣を葬ったとされる小規模な古墳が点在しているのも、この地域の歴史的景観の大きな特徴です。
問10	答え 3 大和政権が、支配下に入った各地の有力者に対して支配や同盟の証として鏡を配付した状況	同じ型から作られた鏡が広範囲で見つかることは、中央の大和政権が中国から入手、あるいは国内で製造した鏡を、自らの権威を認めた地方の有力者に分け与えたことを示唆しています。これにより、大和政権を中心とした政治的な連合や支配体制が、近畿地方から遠隔地へと広がっていった背景を読み取ることができます。
問11	答え 2 大和政権（ヤマト王権）の勢力や政治的な影響力が、地方にまで拡大したこと	各地の有力者が大和政権と同じ形式の古墳を築くことは、その有力者が大和政権と政治的な結びつき（同盟や服属）を持っていたことを意味します。このため、前方後円墳の分布範囲を調査することで、当時の大和政権の影響力がどこまで及んでいたかを推測することができます。
問12	答え 1 渡来人	大陸での争乱を避けるために日本に移り住んだ、あるいは大和政権に招かれた人々を指します。彼らは土木、養蚕、機織り、金属加工などの高度な技術のほか、漢字や仏教、儒教といった思想・文化をもたらし、日本が国家としての形を整える上で重要な役割を果たしました。